

# 弘前市薬剤師会広報

## 支部通信

- 1/7 弘前歯科医師会新年会 出席者：前田  
1/11 三役会 弘前市薬剤師薬局会議室  
1/14 県薬新年互例会 アップルパレス  
県薬役員会 アップルパレス  
出席者：齋藤、櫻庭、笠川、中山  
白滝、前田、鈴木  
弘前市医師会新年会 出席者：津川  
1/17 支部役員会 地域医療研修センター  
1/20 西谷刈県議会議員新年会 ホテルニューキャッスル  
1/21 第12回薬剤師生涯セミナー ホテルニューキャッスル  
支部新年会 ホテルニューキャッスル  
南黒歯科医師会新年会 出席者：津川  
1/24 支部臨時役員会 地域医療研修センター  
1/26 第1回弘前市国民健康保険運営委員会  
出席者：齋藤支部長

## 役員会だより

### 1月弘前支部役員会

日時：平成24年1月17日（火）19:15～21:00  
場所：地域医療研修センター  
出席者：齋藤、櫻庭、笠川、中山、白滝、鈴木  
津川、八木橋、相馬、吉岡、田澤、磯木、花田  
高木、工藤、上田、前田、事務局成田

#### ●報告・検討事項

- (1) 実務実習指導薬剤師・受入薬局委員会（鈴木）  
12月27日の委員会報告提出  
\*Ⅱ期の実習終了報告  
\*Ⅲ期実習：自薬局でできない実習については、Ⅱ期同様、次のように願います。  
・一般用医薬品：菊池薬局・学薬：磯木先生、  
・在宅および災害時医療：弘前調剤センター、  
・薬局製剤：青山調剤  
青森支部開催の集合研修にも参加できる。

弘前市薬剤師会広報 第186号

発行日 2012年（平成24年）2月1日

発行所 青森県薬剤師会弘前支部

弘前市富田3丁目14-1

TEL (0172)32-6205 FAX (0172)32-9199

<http://hirosakiyaku.com/>

自薬局以外の場所での研修には交通費を支給する。金額は公共交通機関利用を基準にする。総括：一般用医薬品、学薬、災害時医療、在宅、薬局製剤についてはⅡ期同様Ⅲ期も集合研修を行うが、自薬局ですべてを実施するのが原則。また、実習の受け入れがない薬局のモチベーションをどう保つか等、課題はさまざまある。

#### (2) 親睦委員会報告

1月11日の委員会報告提出

\*バドミントン・テニス

3月予定：予約が取れ次第広報あるいはHPで連絡する。運動会やソフトボールも考えている。

\*麻雀大会 平成24年2月4日（土）

大会：16:00 雀荘 リーチマージャン キティ  
懇親会：19:20 津軽三味線ライブ あいや

\*新年会余興

PC、プロジェクター（支部）、スクリーン（レンタル）、クイズ、景品の確認。

2次会：けん太旬彩館を予約。会費 3500円

#### (3) 歯科処方例集特別委員会

\*歯科処方例集の配布について

新年会時の研修会で参加各薬局に配布するが、あとは残状況をみて配布方法を考える。

#### (4) 第12回薬剤師生涯セミナーの確認について

司会：櫻庭 受付：田澤、花田、吉岡

参加人数：約100名

資料、マイク(3)、PC、プロジェクター(持参)、スクリーン(ホテル)、飲料水（講師2名分をホテルに）

講師：二人分の謝礼について

#### (5) 新年会の確認について

司会：田澤 受付：笠川、高木、成田

参加人数：会員45名、来賓10名

準備備品の確認

来年の新年会会場の予約について：新館を予約。

(6) 臨時総会について

下記参照

\*臨時役員会を開催する

日時：平成24年1月24日(火) 19:15

場所：地域医療研修センター

(7) 県薬役員会報告

県薬臨時総会

日時：平成24年4月1日(日) 15:00

場所：青森県薬剤師会館

●臨時総会のお知らせ

日時：平成24年2月15日(水) 19:30

場所：弘前市総合学習センター 2F 大会議室

議案：事業計画案、予算案、役員選任について

支部会費納入のお願い

23年度弘前支部会費未納の方が見受けられます。会の運営に支障を来す事にもなります。早期に会費納入をお願いいたします。未納の方には郵貯振り替え用紙を同封しています。

委員会だより

広報情報委員会

●弘前大学医学部附属病院

《新規院外登録薬品》

サーティカン錠 0.75mg、0.5mg、0.25mg

ドネペジル塩酸塩錠 5mg 「DSEP」

ドネペジル塩酸塩錠 3mg 「DSEP」

ドネペジル塩酸塩OD錠 5mg 「YD」

ドネペジル塩酸塩OD錠 3mg 「YD」

ナウゼリンOD錠 10

研修委員会

糖尿病治療フォーラム in 弘前

日時：平成24年2月28日(火) 18:30~20:15

場所：ベストウェスタンホテルニューシティ弘前 3階「サファイア」

弘前市大町1-1-2 TEL: 0172-37-0700

Opening Remarks 18:30~18:35

Session I 【基調講演】 18:35~19:20

『インクレチン関連薬の最新の話  
題』

熊本大学大学院生命科学研究部

代謝内科学 教授 荒木 栄一 先生

Session II 【パネルディスカッション】 19:20~20:10

～2型糖尿病治療におけるシタグリブ  
チンの新しい知見～

1. シタグリブチンの長期使用例における有用性の検討  
国保黒石病院 糖尿病内分泌内科

部長 上原 修 先生

2. シタグリブチンとインスリン併用における有用性の検討  
弘前大学大学院医学研究科

内分泌代謝内科学講座 講師 松井 淳 先生

3. シタグリブチンのインスリン離脱の検討

今村クリニック 院長 今村 憲市 先生

～ 総合討論 ～

コメンテーター：熊本大学大学院生命科学研究部

代謝内科学 教授 荒木 栄一 先生

Closing Remarks 20:10~20:15

日本薬剤師研修センター認定研修(予定)：1単位

主催：小野薬品工業株式会社

後援(予定)：弘前市医師会、県薬剤師会弘前支部

本年4月より「JPALS」がスタート

研修委員会 津川 俊彦

日本薬剤師会雑誌1月号(vol.64)をご覧になって、もう知っている方もいると思いますが本年4月より生涯学習支援システム「JPALS」がスタートします。日本薬剤師会雑誌1月号と2月号の「日薬情報」で2回にわたり、生涯学習支援システムについての解説が掲載されます。1月号には「日本薬剤師会の生涯学習支援の基本方針」「6年制薬剤師の誕生と国際的な潮流であるCPDとポー

トフォリオ」 「薬剤師に求められるプロフェッショナルスタンダード」 「ポートフォリオシステム」 「ポートフォリオシステムでの評価方法」 「過渡的認定」 「e-ランニング」 が掲載されています。ぜひ、お読みになって生涯学習支援システムを活用して自己研鑽に役立ててもらえれば幸いです。

## 第12回薬剤師生涯セミナー

専務理事 前田 淳彦

1月21日(土) 15時30分より、ホテルニューキャッスル本館3階で開催されました。新年会の前の研修会でしたが99名が参加されました。

研修1は一般用医薬品～改正薬事法への対応～と題して青森県薬剤師会一般用医薬品特別委員会委員 葛西孔明先生が講師をされました。平成21年6月1日より改正薬事法が施行されたが、平成24年5月31日で経過措置終了となり、改正薬事法では情報提供と相談体制の整備、登録販売者制度の施行、医薬品のリスク分類が主に変わりました。一般用医薬品は第1類、指定第2類、第2類、第3類とリスク分類され、陳列並びに表示が規定されました。そして、第1類医薬品では文書による情報提供が必要ですが、最近、新聞報道で、第1類医薬品の情報提供文書の実施率が50.5%から31.5%に減少しているという問題点があげられました。そこで、提供する情報を日薬のHPよりダウンロードする方法についても教えて頂きました。

研修2では、調剤報酬改定の情報と最近の指導監査の状況について、青森県薬剤師会常務理事の高坂聡先生が講師をされました。



調剤報酬改定については、在宅医療の充実と後発品医薬品の使用促進、残薬のチェック等が主にあげられるようです。最近の指導監査の状況につ

いては、今まで指摘されていたことがあげられていますので再度確認していただきたいと思います。

### 薬薬連携委員会

## がん化学療法セミナー（薬薬連携 part3）

文責 花田 和大

去る1月18日(水)18時30分より弘前大学医学部附属病院大会議室において、研修委員会ならびに薬薬連携委員会合同による3回目のがん化学療法セミナーが開催された。司会を上田先生(弘愛会病院)、話題提供を照井先生(弘前大学病院)が担当し、薬局勤務、病院勤務などの約40名の先生方が4つのグループに分かれて研修会が行われた。

研修のテーマはティーエスワンについてであり、はじめに症例(処方例)を提示し、次にどのように服薬指導するかなどについてグループ毎にディスカッション、続いて2グループによる発表、最後に解説という形式で研修が進められ、この形式で2度のディスカッション、発表、解説が行われた。処方例は抗がん剤点滴治療に伴う内服処方であり、添付文書に載っていないティーエスワンの使用方法であったが、各グループでは活発なディスカッションが行われた。また、解説はティーエスワンの相互作用、副作用、他の注射抗がん剤との併用療法における指導方法や注意事項についてであった。



今回で3回目となったがん化学療法セミナーであるが、複数回参加されている先生方からは前回、前々回の研修内容と照らし合わせての発言も見受けられた。今後もこのような研修会を通して、病院、薬局の垣根を越えた交流を行い、薬薬連携を深めていけることを期待する。

## 地域保健委員会

### 2・3月夜間電話相談事業

地域保健委員会 委員長 八木橋 雄一

当事業にご参加の薬局の皆様には過分なご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。先日 FAX でご案内した当番表(案)ですが、スケジュール変更がありました薬局には最終案を送りました。今一度ご確認をお願いいたします。

来年度も当事業は継続する予定であり、6月7月は弘前支部が当事業を担当する予定です。弘前地区・他地区の賛同薬局が合同で当番スケジュールを作成する予定です。後程お知らせいたします。事業事務局(地域保健委員会)はなるべく賛同会員皆様に負担やストレスがかからないよう努めます。スケジュールや時間的に、また薬剤師の人数的に等の不安やご事情は、事業事務局(TEL38-6170)に遠慮なくご相談頂ければ幸いです。

## 総務委員会

### 新年会報告

専務理事 前田 淳彦

1月21日(土)18時よりホテルニューキャッスルにて新年会が開催され、58名が参加しました。

初めの齋藤支部長あいさつでは、3月11日の東日本大震災では、支部から多くの薬剤師が被災地へ足を運び災害ボランティアとして活躍していただいたことの御礼を述べられました。また、4月に予定されている調剤報酬改定では在宅と残薬の対応が求められることのお話でした。ご来賓の小笠原弘前副市長、青山弘前市医師会理事からご祝辞を頂いた後、中村弘前歯科医師会副会長の乾杯により開宴しました。また、開宴後、西谷青森県会議員からもご挨拶を頂きました。新入会員の紹介では、山口紗矢佳先生、大内一希先生が登壇し自己紹介をして頂きました。恒例の親睦委員会による余興ではスクリーンを使ったクイズに一喜一憂し盛り上がりました。新年会は20時に菊池日薬監査理事の中締めで閉会しました。

## 開局委員会

### 平成23年度DEM事業 参加協力のお 願い

開局委員会 中山昭彦

日薬雑誌、県薬HP、日薬HPで掲載および先日はピアネットでご案内致しましたように、本年度も多くの薬局のご参加をお願い申し上げます。

対象医薬品： DPP-4 阻害薬

入力練習期間 12月19日～2月16日

〈ログインID〉test 〈パスワード〉test

調査実施期間 2月20日(月)～2月26日(日)

インターネットでの報告期間 2月20日～3月31日

〈ログインID〉dem 〈パスワード〉nichiyaku

インターネットでの報告： 青森県薬剤師会ホームページの「会員の頁」

県薬HPアドレス

<http://www.aoyaku.or.jp/> ユーザー名：

aoyaku パスワード；DI



編集者：奈良 卓、新田 陽子